

日田に新しく

8つの遺跡発見

速報展概要

日田市内で平成25年度に発掘調査を行った8遺跡の成果を皆様にお知らせします。

小迫辻原遺跡の調査では、重要遺跡の確認調査を行い、環濠の重複関係が明らかになり、天瀬町の出口遺跡からは縄文時代の遺構と土器が多く出土しました。

このほかに、会所宮遺跡、元宮遺跡、慈眼山遺跡、井川遺跡などの調査によって、得られた成果と遺物のご紹介に加え、平成25年度に閉館した「旧大山ふるさと資料館」に収蔵されていた考古資料も同時に展示し、新たに発見された日田の歴史をご紹介します。

新たな日田の歴史ここにあり

速報展

平成二十五年度埋蔵文化財発掘調査



井川遺跡



銭渕遺跡



小迫辻原遺跡



慈眼山遺跡 1 1 次



君迫遺跡



会所宮遺跡 2 次



元宮遺跡



出口遺跡

特別展示

(旧) 大山町ふるさと資料館
収蔵考古資料

平成25年度に解体された『ふるさと資料館』に収蔵展示されていた県指定文化財『老松神社銅鉾』や塚ノ本遺跡(現中川原遺跡)出土の弥生土器、貫見遺跡出土の石器類などを紹介します。なかでも『銅鉾』は弥生時代中期末頃の祭器で、市内では3例しか発見されていないものの一つです。



2014年

7月14日(月)～8月29日(金)

日田市埋蔵文化財センター

主催：日田市教育委員会

遺跡位置図



展示遺跡の概要

①君迫遺跡 (君迫町)

中世の建物跡や溝などが確認されました。建物跡は谷状の落ち込みを埋め立てて建てられており、川の氾濫を受けやすく、生活するには適当な場所ではないことや、出土遺物が極端に少ないことなどから、通常の生活跡ではない集落であった可能性が高いと考えられます。



②小迫辻原遺跡 (大字小迫)

J-6区の調査では1~3号環濠や竪穴住居跡などが確認され、その重複関係などが明らかとなりました。また、2号環濠の底からは、廃棄された土器が出土しました。そのほか、古代の大型建物跡や中世の環溝居館などが発見され、古代の建物は官衙関連施設と推測されるなど、これまでになかった貴重な調査成果が得られました。



③慈眼山遺跡 11次 (城町2丁目)

現在の地面から約1.9mの深さで溝や井戸のような石組みなどが見つかり、お皿や播鉢などが出土しました。これまで周辺の調査では、大友姓日田氏の統治下にあった15~16世紀を中心とする武家屋敷群や、短期間のうちに造成が繰り返された様子が明らかとなっており、今回の調査地もその一部であることがわかりました。



④会所宮遺跡 2次

円形の竪穴住居跡や溝、直径2mを超える食料貯蔵用と考えられるの穴などが見つかり、弥生土器などが出土しました。円形の竪穴住居跡は、調査地の西側の道路建設の際にも1軒確認されています。このあたりに弥生時代の人々が生活していたことが、改めて確認されました。



⑤元宮遺跡 (大字求来里)

一見何もない平坦な畑の中から、周溝の直径約20mの古墳が見つかりました。古墳は畑地造成の際に大きく削られていますが、石室が残っており、その内部には赤色顔料が一面に塗られています。近くには国史跡法恩寺山古墳群やその他いくつかの古墳がありますが、今回の調査により三芳地区に新たな古墳が1つ増えました。



⑥銭淵遺跡 (高瀬本町)

三隈川を臨む河岸段丘上から古代の建物跡が数棟見つかりました。このうち、掘立柱建物跡は3間×6間以上(約6m×約12m以上)と大型のもので、当時の役所に関係する建物と考えられます。川に近い立地から、陸上と河川の交通に関連する施設であった可能性が高いと思われます。



⑦出口遺跡 (天瀬町出口)

谷部の緩斜面上で、縄文時代後期の土坑やピット、中・近世頃のものと考えられる掘立柱建物跡が発見されました。特に、縄文土器が多く出土しており、従来知られていた縄文時代の遺跡が調査地周辺でも広がることを改めて確認することができました。



⑧井川遺跡 (天瀬町出口)

標高約450mの山頂付近の平らな場所で後期旧石器時代の石器などが見つかりました。見つかった石器は、狩猟に使ったものや、道具を調整した際の破片などが10点ほどでしたが調査地付近が狩猟のルート上になっていたものと思われます。



近代	近世	中世	古代	古墳	弥生	縄文	旧石器
----	----	----	----	----	----	----	-----

<p>1868年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一八六七年(慶応三年) 明治政府が成立する ・一八六八年(明治元年) 永山城跡に日田県庁が設置される ・一九一六年(大正五年) 筑後軌道豆田駅が開業 ・一九二八年(昭和三年) 久大本線が開通 	<p>1568年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織田信長が上洛する ・一五九〇年 豊臣秀吉が天下を統一する ・一五九四年 宮本長次郎が太閤藏入地代官となり日隈城を築く ・一六〇一年 小川光氏が月隈山に丸山城(後に永山城)を築く ・一六〇三年 江戸幕府が成立する ・一六四四年 この頃、絵図に永山城が廢城と記される ・一六八六年 日田が幕府直轄領となる ・一七六七年 日田代官が西国筋郡代に昇格する ・一八一七年 廣瀬淡窓が咸宜園を開く 	<p>1192年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大蔵氏が活躍する ・慈眼山遺跡でこの頃の金持伝が発見される ・一九二二年 鎌倉幕府が成立する ・一三三八年 室町幕府が成立する ・大蔵氏の家系が断絶し、姻族の大友氏が継ぐ ・慈眼山遺跡で武士の居館と考えられる大規模な堀に大規模な堀に囲まれた建物群が建てられる 	<p>710年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平城京に都が遷される ・大渡羅遺跡で日田郡の郡衙と考えられる ・大型掘立柱建物群が建てられる ・小迫辻原遺跡で官衙配置の建物群が建てられる ・七三二年 豊後国風土記がつけられる ・七九四年 平安京に都が遷される ・朝野群古墳や穴観音古墳などの装飾古墳が造られる ・朝日天神山古墳が造られる ・盆地北部の台地斜面に横穴墓が多数造られる 	<p>250年頃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約三千年前 奴国王が中国皇帝より金印を授かる ・吹上遺跡でオウ墓がつけられる ・約二千年前 九州北部に米作りが伝来 ・刻印帯文土器が使われる ・約三千年前 土偶作りが盛んになる ・竪穴住居が作られる ・約五千年前 大きな貝塚集落が作られる ・約五千年前 土器・弓矢の使用が始まる ・楯先形尖頭器や三角鏃が作られる 	<p>約一万三千年前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土器・弓矢の使用が始まる ・楯先形尖頭器や三角鏃が作られる ・約五千年前 大きな貝塚集落が作られる ・約五千年前 土器・弓矢の使用が始まる ・楯先形尖頭器や三角鏃が作られる 	<p>約三万四千年前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穴形様石器・局部磨製石斧が使用される ・高瀬川遺跡で焚き火跡が見つかる
---	--	---	--	---	---	---

◆歴史年表◆

井川遺跡

出口遺跡

小迫辻原遺跡

会所宮遺跡2次

元宮遺跡

銭淵遺跡